

FOBO Bike(フォボバイク) クイックスタートガイド(初版)

重要：FOBO Bikeをご使用になる際には、センサーがバイクの各パーツなどと干渉する事がないようなクリアランスがあることを十分に確認を行って下さい。
 クリアランスが十分でない場合、センサーやバイクの破損、リムからタイヤバルブがはずれたり、突然の空気漏れなどの危険性があります。
 また、タイヤバルブが激しい震動により位置が変動する可能性もあるため余裕を持ったクリアランスが必要です。

本クイックスタートガイドのアップデート版を随時、当社ホームページに掲載します。
 メーカー発行のユーザーマニュアルは当社ホームページ「サポート情報」の取扱説明書で確認できます。

1 準備

(1) お使いのスマートフォンの「Bluetooth」と「位置情報サービス」をONにしてください。

[iPhoneの場合]

Bluetooth：「設定」 「Bluetooth」

位置情報サービス：「設定」 「プライバシー」 「位置情報サービス」

[Android(例：Galaxy S4)の場合]

Bluetooth：「本体設定」 「接続」 「Bluetooth」

位置情報サービス：「本体設定」 「その他」 「位置情報サービス」

<重要>FOBO Bike のインストールは、下記「2. タイヤセンサーのインストール」にしたがってFOBO Bike アプリを使って行ってください。スマートフォンのBluetooth 設定メニューからはインストールできません。

<重要>インストールを確実にするため、他のBluetooth機器をご利用の場合には、一旦、接続済みのBluetooth機器の接続を解除してからFOBO Bikeのインストールを行ってください。

(2) アプリのダウンロード(図1、図2、図3、図4)

App Storeで「fobobike」、または、Play Storeで「fobo bike」で検索
 スマートフォンにインストールし、メールアドレスを登録してください

ポイント>入力したメールアドレス宛てに登録処理用のメールが届きますので、お使いのスマートフォンで受信できるメールアドレスを利用いただくとその場で次の手続きを進めることができるので便利です。

(3) 登録の完了

すぐにメールが届きますので、メール本文のリンクをクリックして登録手続きを完了してください。

ログインボタンを押すと規約とプライバシーポリシーの同意画面になりますので、同意をクリックしてください。

(4) アプリ起動

アプリを起動して登録したメールアドレスでログインしてください。

2 タイヤセンサーのインストール

(1) ホーム画面上にある「+」をタップするとバイク、自転車、トライク、逆トライク、エアショック、バイク+左サイドカー、バイク+右サイドカー、クワッドバイク、トレーラー(二輪)、トレーラー(四輪)の選択画面になります。ご利用になる車種にあわせて「確認します」ボタンを押します。

ここではバイクを選択した場合の手順を説明します。

(2) バイク情報の入力画面になります。

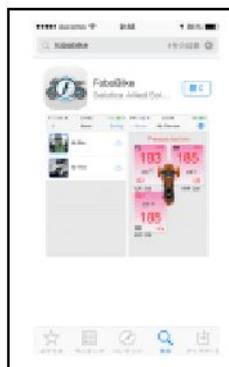
車名、空気圧の単位、温度の単位、車両の推奨空気圧の設定(前輪、後輪)を入力します。
 右上の完了ボタンを押します。

(3) センサーのインストール画面になります。

後輪のタイヤバルブにセンサーを装着し、スマートフォンを接触させた状態でポップアップ画面内の「OK」をおします。

<重要>この時、必ず、タイヤセンサーとスマートフォンは近づけて操作を行ってください。

iPhoneの場合



(図1)

Android(Galaxy S4)の場合



(図2)



(図3)

登録画面



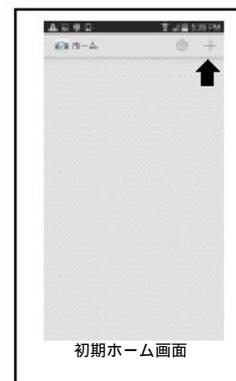
(図4)

登録画面



(図5)

初期ホーム画面



(図6)

初期ホーム画面



(図7)



(4)後輪のセンサーインストールが完了すると、前輪のセンサーインストール画面になります。
前輪のタイヤバルブにセンサーを装着し、スマートフォンを接触させた状態でポップアップ画面内の「OK」を押します。

<重要>センサーの電波強度を利用してインストール処理を行うため、各センサーとスマートフォンのインストールを行う際には、必ず、センサーにスマートフォンの背面や側面を接触させるくらい近づけて操作を行ってください。1個15秒程度が目安ですが、1分程度掛かる場合もあります。

<重要>センサーをタイヤのバルブに取り付ける際には、脱落や盗難予防のため付属のロックナットを使用してセンサーを確実に固定してください。また、車の利用前後には、センサーが緩んでいないか確認を行ってください。



設定画面



設定画面

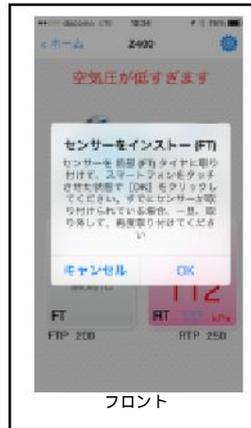
以降は、iPhoneの画面例になりますが、Androidも同様の処理となります。



リア



インストール中 (以降省略)



フロント



完了

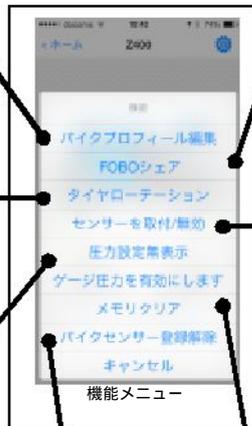
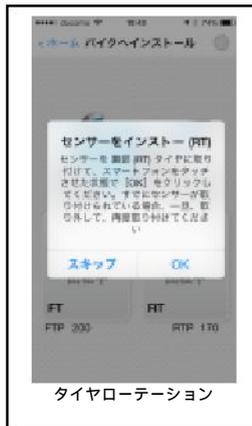
3 機能メニューの説明

iPhoneの画面例に基づく説明となりますが、Androidも同様です。
モニター画面右上の設定ボタンを押すと機能メニューが表示されます。

車両のプロフィール：
車両の写真、名前、単位、設定値の編集を行います



タイヤローテーション：
タイヤ位置を入れ替えたり、センサーを取り外して再度取り付けたりする際に使用します。



センサーを取付/無効：
各センサーを個別に無効化したり取り付ける際に使用します。異常が検出された場合、一時的に警告音を停止させるためにセンサーの無効化を行ったり、1個単位でセンサーを交換取付する場合などに、アプリ画面の各センサーのボックスを長押しします。



圧力設定を無表示：
設定した推奨圧力値の表示、非表示を切り替えます



メモリクリア：
各センサ情報は、15秒に1回更新されます。また、センサーからの信号が届かない場所に移動した場合などは最後に受信した値を表示します。メモリクリアすると、その記憶された情報がクリアされます。

バイクセンサー登録解除：
他のスマートフォンで再インストールしたり、他のユーザーに利用してもらった場合などにバイクセンサーの登録解除を行う際に必ず実行いただく必要があるメニューです。ポップアップメニューの「OK」を押して、アプリ画面内のタイヤ位置の表示部分ボックスを5秒間長押しします。

<重要>この時、必ず、タイヤセンサーとスマートフォンは近付けて操作を行ってください。



4 基本設定およびプロフィール設定

(1)基本設定

ホーム画面の「設定」ボタンで、単位やアラーム音などの基本設定の編集を行うことができます。



ホーム画面



基本設定画面

(2)プロフィール設定

プロフィール画面の「詳細設定」からタイヤ空気圧の設定範囲や車載ユニットの起動感度の編集を行うことができます。



設定画面

5 同梱物



タイヤセンサー x 2



特殊レンチ x 2

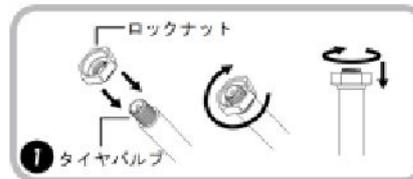


ロックナット x 4

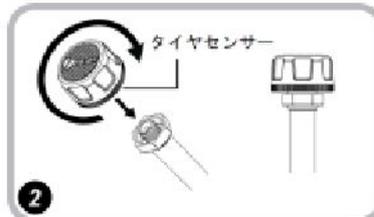


特殊レンチ用キーリング x 1
FOBO Tireステッカーx1

6 ロックナットの取り付け



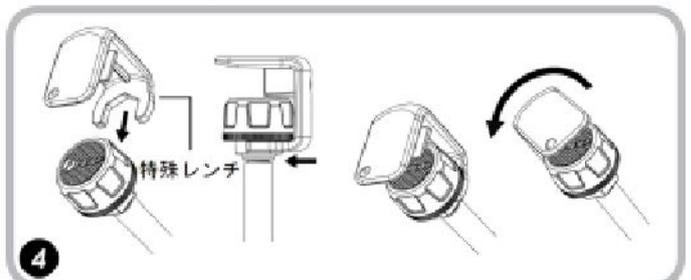
まず、ロックナットをタイヤバルブに取り付けます



次に、タイヤセンサーをタイヤバルブに取り付けます



、タイヤセンサーをタイヤバルブにしっかり締め付けた後、ロックナットをの取り付け時とは逆方向に、特殊レンチを使用して締め上げ、タイヤセンサーを固定します



(以下余白)